

川崎市青少年育成連盟 (川崎市子ども会連盟・ボーイスカウト川崎地区協議会・ガールスカウト川崎市連絡会・川崎海洋少年団)

育連だより

青少年育成連盟のホームページ開設される!

平成11年10月より青少年育成連盟のホームページが開設されました。子ども会・ボーイスカウト・ガールスカウト・海洋少年団の各ページとリンクし、それぞれの団体の活動状況や入会方法などを紹介しています。一度ご覧になって下さい。

なお、まだ作成中のページもありますが、徐々に作成していきます。

各ホームページのアドレスは、下記のとおり。

○川崎市青少年育成連盟

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/index.html>

○川崎市子ども会連盟

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/kodomo/index.html>

○ボーイスカウト川崎地区協議会

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/bs/index.htm>

○ガールスカウト川崎市連絡会

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/gs/index.html>

○川崎海洋少年団

<http://www.join.saiwai.kawasaki.jp/volunt/ikuren/kaiyo/index.html>

また、このホームページは区役所、市民館等に設置してある「かわさきテレピア計画」公共情報提供サービスの利用者端末からも見ることがで

きます。トップページの「市民の情報を見る」⇒「その他の市民情報を見る」⇒「川崎市青少年育成連盟」と画面をタッチして下さい。川崎市青少年育成連盟のホームページにつながります。



川崎市青少年育成連盟とは

川崎市子ども会連盟、日本ボーイスカウト川崎地区協議会、ガールスカウト川崎市連絡会、川崎海洋少年団をもって組織されています。



ガールスカウト



子ども会



海洋少年団



ボーイスカウト

目的

各加盟団体が連携・協力して、地域の青少年の健全育成を目的としています。

活動内容について

青少年の健全育成のための広報活動展開・指導者研修の実施・青少年の国際交流の推進などを行っています。

最近の活動のトピック紹介

育連だよりについて

年に2回育連だよりを、市民館・区役所・図書館などで配布しています。青少年育成連盟の活動や、各団体の活動について紹介していますので、ご覧ください。

問い合わせ等

事務局 川崎市中原区上小田中6-22-5エポック中原5階
電話 044-733-3951

平成11年度川崎市青少年育成連盟 中高生リーダー交流研修が始まりました!

川崎市青少年育成連盟は、参加している青少年一人一人が成長するとともに、各団体の次代を担うリーダーになってくれるよう願って、昨年度より中高生リーダー交流研修を再開しています。

今年は、安藤研修委員長 (ボーイスカウト)、村田実行委員長 (子ども会連盟)、木村副実行委員長 (ボーイスカウト)、村石副実行委員長 (ガールスカウト) 及び各団体の若手スタッフの手により、9月5日 (日) より、「夢を追いかけよう!」をテーマに始まりました。

研修会のねらいとしましては、

- ① 育成連盟加盟団体について、お互いに理解しよう。
- ② 自分たちの川崎をみつけよう「川崎新発見」の2つの柱立てで計画しました。

参加者は、子ども会25名、ボーイスカウト6名、ガールスカウト7名、海洋少年団3名の41名で、「四次元班パトロール」森下班長、「クローバー」木村班長、「MARBLE」佐藤班長、「メイクドラマ」星班長の4つの班に分かれ、来年3月まで年8回の研修を行っていきます。

八ヶ岳宿泊研修会が行われる(子ども会)

われもこ^わ吾亦紅やきき^けようが健気に出迎えてくれた。到着時、強い雨が降ったが、花々はさらに輝いていた。心をなごませてくれる。実は、私が就寝したのは、出発時刻の五時間前というあわただしさ。数ヶ月かけて入念に準備を重ねて来たつもりが、やはり今年も一、しかし今年こそという気持ちでバスに乗り込む。暖かいお見送りに見守られて一路八ヶ岳へ。(総勢89名、バス2台)

麻生区の今年の特徴は、ジュニア、特に中1が多く、逆にカウンセラーの参加が少なかったにもかかわらず、スムーズにプログラムが進められた。そのプログラムにも新企画がいくつか登場した。第一にTシャツ作り、Tシャツ作りといってもパソコンでプリントしたものをアイロンで、胸と背中に動物柄を写すと言うもの。柄は班ごとにし、班がまとまるようにとの思いでした。盛夏にアイロンとは非常に暑苦しいものですが子ども達は、暑さをものともせず真剣そのもの、第二の野外炊飯は冷やし中華と水ぎょうざに決定。奇想天外のメニューに多少の躊躇はありましたが、意外にも好評でした。なによりも自分のぎょうざは自分でつくらなければいけませんから、手を休めている暇はありません。皆大忙しです。貴重な体験でした。

第三にそば打ち体験。近ごろは調理された食品やファーストフードが豊富で、おそばさえもしかり。そば粉からこねておそばが出来上がるのを目のあたりにして、さぞおそばがおいしかったことでしょう。そのうえに、おつこと亭(そば打ち道場)へは1時間15分の徒歩の道のりでしたが一番楽しかったと言ってくれました。

大いに手も足も使った宿泊研修の最後のしめくりは、おそろいの黄色のTシャツを着て無事、家路に着くこと、楽しかったキャンプファイヤーの思い出やそばの香りとともに。私の夏もこれで終了しました。

(麻生区青少年養成委員長 諸星 利恵子)



(そば打ち風景)

“野外活動をテーマに研修会”(ガールスカウト)

5月23日、青少年の家で神奈川県支部主催の指導者研修で支部より4名のトレーナーをお迎えし、好天のもと野外料理、ネイチャーゲーム、ソングと野外での楽しい活動となりました。自然環境問題をテーマのスタンプも各々のパトロールが焦点を絞り工夫を凝らして熱演。

自然との共存はまず触れ合い、興味や関心を増して大切に作る気持ちからと小鳥の鳴き声の中、確認し合いました。

9月19日は川崎市連絡会主催の保護者団委員・指導者研修で講師に馬場典子リーダーをお招きし野外料理とソングを学びました。

飯盒で炊き込みごはん、蒸しパン、ポップコーン、みそ汁、コーラ煮込みチキン、チーズ作り、空き缶でミートローフ、紙袋で鱻の蒸し焼き、牛乳パックでマッシュポテトの巣籠り風をさらにビニール袋で昆布のうまみ漬けが出来ました。多品

目の献立にもかかわらず、どのパトロールも野外炉をフルに活用し美味しく完成させていきました。中央では段ボールで鮭の燻製のデモンストレーション。

木陰にベンチを寄せて午後のプログラムは始まりました。一足遅れて出来上がったスモークサーモンを皆で分かち合い、ソングの研修。丁寧に繰り返しの指導は初めて耳にする曲も覚えることが出来ます。様々な年代の人達と役割を分担し、日頃使い慣れた調理器具や燃料を使わずに工夫をして創り上げることの楽しさを満喫した1日でした。キャンプの献立にしても日々の生活においても「食」は、地球の自然のしくみ、いのちのあり方そのものと関わっています。野外料理を通して様々な事に気付くことが出来たことはとても大きな収穫でした。

全国大会に参加して(海洋少年団)

平成11年8月7日～9日、福井県敦賀市で開催されました全国大会に団員10名、指導員3名で参加してまいりました。参加競技は手旗競技に限り、手旗受信競技と手旗送受信競技の2種目出場いたしました。

結果は手旗受信競技において7人が満点(100点)を取ることができました。

大会のイベントとしては、近所の方のお宅にお邪魔して、入浴と夕食をいただく「ふれあい湯ING」と様々な催しに参加いたしました。

大会閉会後は、市内観光をし昼食は河原でバーベキューをしました。楽しい思い出とともに怪我人もなく無事に帰ってきました。

団員を代表して「全国大会の思い出」と題して小学校2年生の小野寺雄太くんの感想文をご紹介します。

「ぼくは、はじめて全国大会にさんかしました。てばたきようぎでは、あんまりてん数をとれなくてとてもくやしかったです。でも、こんどは100てんをとりたいです。

「ふれあいゆういんぐ」のときにお世話になったもけいやさんではとてもたのしかったです。なぜかという、てっぼうをうたせてもらったりすいかを食べさせてもらったからです。もけいやさんは、しゅくしゃの学校から1分くらいのところにあります。

よるは「ウノ」をしてあそびました。

バーベキューのとき、みんなで魚をさばいてやいてたべました。ぼくは、みているだけだったけどたのしかったです。そしてとてもおいしかったです。ぼくもさばけるようになりたいです。

てばたはむずかしかったけど、おまつりや魚のつかみどりや、バーベキューはたのしかったです。つぎの全国大会までにてばたをれんしゅうして、バッチをもらいたいです。」

今回は2年後の開催で清水市で行われます。さあ、目標どおりになるように、手旗の練習をがんばりましょう。

スカウトの日「カントリー大作戦」 (ボーイスカウト)

去る9月15日(火)敬老の日、全国一斉にスカウト・指導者が参加して「カントリー大作戦」が実施された。

カントリー大作戦とは、ボーイスカウト日本連盟がスカウト達に地域社会に貢献すると共に、地球の環境についてより深く考え、身近にできる活動を展開し、広く社会にアピールしていくことを目的に平成2年、スカウトの日「カントリー大作戦」のテーマを基に設定し、本年度で10年目を迎えた。

川崎地区では21ヶ団のスカウト・指導者・父兄参加のもと、各団の活動地域を中心に、道路端、公園内の植込み、空地等の掃除を兼ねながら実施した。最近では市民グループの清掃奉仕などによって、大変きれいに整備されてきた。その反面、道路端の下水、草むら、駐車場等にはポイ捨ての空き缶・空きビンが散乱しておりスカウト達も大変苦労したようだった。

しかし、活動中に市民の皆様から「ご苦労さま」

「頑張って」と言った暖かい言葉を掛けられ、スカウト達は「日々の善行」を実践したことを実感したと思う。

今回の空き缶等の回収実績は
参加団21ヶ団、参加総人員880名、空き缶回収数6,200缶、一般ゴミ58袋。

この結果を県連・日連に報告し本年度の「カントリー大作戦」は終了した。



指定都市JL名古屋大会に参加して…(子ども会)

私は、今年の夏休みに初めて、「指定都市JL名古屋大会」に参加しました。8月5日～8月8日までの3泊4日の宿泊研修でした。札幌、横浜、川崎、名古屋、大阪、神戸、広島、福岡、北九州各都市のJLの代表者が集まり、ゲーム大会や、討論会、キャンプファイヤーなどをやって、みんなと親睦を深め、たくさんの人達と友達になることができました。また、討論会では、他の都市の人達の活動を知ることができてよかったと思います。今回の討論会で学年別会議があり、初めて、みんなのまとめ役として議長をやることになりました。議長をやってみて思ったことは、みんなの意見をまとめるのが難しくて、けっこう大変でした。でも、

議長をやって、自分にとっていい経験となったのでよかったと思います。ゲーム大会やキャンプファイヤーでは、他の都市の人達と友達になれることができ、また自分の知らないゲームや、ゲームの進行のやり方などが学べたので、よかったなと思います。

全体を通して思ったことは、初めて指定都市に参加して、たくさんの人達と友達になれたし、自分の知らないゲームなど、たくさんのことを指定都市で学べたと思います。また、いつか指定都市に参加するきかひがあれば参加したいです。そして、またどこかでみんなに会えることを楽しみにしています。(多摩区 八木直子)

楽しかった救急法の研修会(ガールスカウト)

救急法は6月27日川崎市連絡会主催で、高津市民館にて保護者団委員・指導者研修として行われました。日赤救助隊・川崎分隊の2名を講師として「夏休みと子どもの安全」「パンティストッキングを使って」等を中心に傷の手当ての注意点等を学びました。キャンプ直前であり、食中毒の時期ということもあって一つとして聞き逃さないようにと真剣でした。きびきびと説明をして下さる兼田コーディネイターは小気味よく少しも飽きさせる

ことがありません。パンティストッキングをカットして三角巾のように応用する時間はお互いの不気味な格好に笑いも出ましたが、その頑丈さ、通気性の良さは覚えておきたいものです。

自分は自分で守る、ということを忘れずに安全を考えて行きたいと思いました。

研修会は楽しく有意義で他団の方々とも交流が出来ました。講師の方々、スタッフの皆様に感謝します。

地区ラリー盛大に開催される(ボーイスカウト)

去る9月19日、ボーイスカウトは富士見公園(ふれあい広場)で地区ラリーを開催しました。地区ラリーと言うのは、川崎市に展開するボーイスカウト各団が一同に会し、日頃の成果を競い合う、年一回の大イベントです。

今年は「トライ・トゥ・ザ・フューチャー(21世紀に向けて)」をテーマに「チャレンジ&バトルラリー99」にトライしました。

今年のホスト団は川崎市南部にある3、21、26、

30、38、44、45の各団が担当し、午前中はチャレンジゾーン、午後はバトルゾーン及び記念式典と盛り沢山で工夫をこらしたプログラムが用意され参加者全員が大いに熱中しました。

当日の参加者はビーバー97、カブ240、ボーイ143、ベンチャー11、リーダー212、団委員42、その他52、合計797人の盛況でしたが、折からの晴天と陽気の中で気温はぐんぐん上がり、全員いい汗を流しました。

編集後記

暑かった夏も過ぎ去り、急に涼しくなった今日この頃、育連だより20号を発行しました。各団体の皆様のご協力によりまして原稿も集まり、ほっとしました。

発行 川崎市青少年育成連盟

事務局 〒211-0053

中原区上小田中6-22-5

エポック中原5階

T E L 044-733-3951

印刷 西桜印刷株式会社